



小勢力回路用 耐火ケーブル (EM-JSH®)

Instrumentation, Control and communication fire proof cable

1. 概要

平成 29 年 2 月に埼玉県三芳町で発生した大規模倉庫火災では、感知器にかかる電気配線の短絡によって、多数の防火シャッターが作動しなくなる事象が発生し、延焼の拡大、消火活動の長時間化に影響しました。

このことを受け、国土交通省は、告示*の改正を行い、50000 m² 以上の大規模倉庫に、火災情報信号を発生するアナログ式感知器を設置する場合、その電気配線に下記いずれかの対策を行う事が義務付けられました。

①配線（耐熱電線）の短絡を防止する措置

配線（耐熱電線）が感知器に接続する部分に耐熱性能を有する材料（マイカテープ等）で被覆することその他の短絡を有効に防止する措置を講じること。

②短絡の影響を局限化する措置

短絡が発生した場合でもその影響が床面積 3000 m² 以内の防火区画された部分以外に及ばないように、断路器その他これに類するものを設けること。

この度、当社は①の「その他の短絡を有効に防止する措置」に対応したケーブルとして、耐熱電線の導体上に、マイカテープを施し、短絡防止を図った、小勢力回路用耐火ケーブル（品名：EM-JSH®）を国内で初めて開発しました。

2. 用途

50000 m² 以上の倉庫に設置されたアナログ式感知器及び、その他 60 V 以下の弱電電源配線への使用が期待されます。

3. 特長

- ・耐熱電線より性能を向上させ、より高温に晒されても短絡しない性能を持ったケーブルです。
（耐熱電線：380℃ 15分 → EM-JSH®：840℃ 30分）
- ・ケーブル単体で短絡の防止を図っているため、現場でのマイカテープ処理の必要がなく、施工時間の削減が図れます。
- ・低圧耐火ケーブルと比べると、20%細径・30%軽量で取扱い性に優れた製品です。



図 1 小勢力回路用 耐火ケーブル (EM-JSH®)

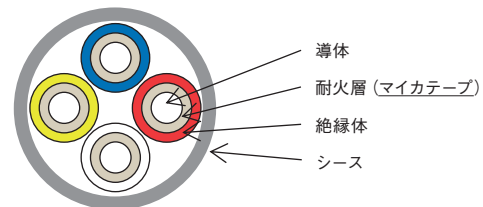


図 2 ケーブル断面図 (例：4C)

表 1 ケーブル仕様

項目	EM-JSH®		
	1.2 mm × 2C	1.2 mm × 3C	1.2 mm × 4C
仕上外径 (約 mm)	4.5 × 7.5	7.5	8.5
概算質量 (約 kg/km)	55	70	90

* 防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件
(昭和 48 年建設省告示第 2563 号)

公布：平成 30 年 3 月 27 日／施行：平成 31 年 4 月 1 日

EM-JSH は富士電線株式会社の登録商標です。

問合せ先：〒101-0047 東京都千代田区内神田1丁目18番13号
(内神田中央ビル2階)

富士電線(株) 営業本部 営業企画部

電話(03)5217-0911 FAX(03)5217-0920